

昭和二十八年二月十二日提出  
質問 第二一五号

結核療養所設置方針に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十八年二月十二日

提出者 中村高一

衆議院議長 大野伴睦殿

## 結核療養所設置方針に関する質問主意書

一 結核療養所の設置については、住宅の密集せる所、学校の附近等許可すべきものではないと思うが、政府の方針を質問する。

一 病院設置の場合は、関係町村の意見を聴く必要ありと思うが如何。

一 例えば、東京都北多摩郡東村山町回田もと陸軍少年通信兵学校跡は、現在、町立東村山町管理住宅、東村山中学校、財団法人昭和会本部並びに関東電気通信局東村山共同宿舍となり、生徒一千余名、住民二千人をこえ、隆隆発展の途上にある。

しかるに、大蔵省は、旧軍事施設を所管する立場より、この地に非現業共済組合の総合病院の名の下に、開放性結核患者を多数收容する目的をもつて、結核療養所の建設を企図しているが、政府の方針との関係如何。

右質問する。